

やめよ! 徳山ダム

徳山ダム建設中止を求める会通信
No. 34 (2000. 8. 28)
事務局 TEL/FAX 0584-78-4119
大垣市田町1-20-1 近藤方

そろそろ大詰め：収用委の中断・凍結を迫ります

次回 収用委 (第4回) は9月19日

7月25日の収用委では、徳山ダム建設のもつ問題を多方面から述べました。今回は中断・凍結を収用委員会に迫ります。その結論次第で収用委のボイコットも。

徳山ダム建設に反対する市民らが権利を持つダム予定地内の共有地について、強制収用を認めるかどうかを話し合う収用委員会が七月二十五日にあり、傍聴した。地権者が意見を述べた場があり、名古屋市内の中学校教諭という男性が興味深い話をしていった。男性は愛知県西尾市に住んでいて、地元で知られようとしていた矢作川河口地に長い間反対してきた。

万華鏡

建設を進めていた建設省は「洪水が来たら、住民の生命にかかわると言い続けてきた。しかし、三、四年前に建設中止を決めると、「洪水の危険」はだれも言わなくなったという。徳山ダムの場合も、同省や県は揖斐川の洪水対策を強調する。だが、仮にダム計画がなくても同じことを言うのかどうか、疑問が膨らんできた。(慶)

実質的な審理 今回も入らず

徳山ダムで収用委員 水資源開発公社が藤橋村で建設中の徳山ダムの未買収地のうち、ダム建設に反対する市民グループのメンバーらの共有地について二十五日、収用委員会(端元博保会長)の三回目の審理が県庁であった。強制収用に強く反発する地権者らは審理凍結を主張し、前回に続いて実質的な審理に入らないまま終了、九月の次回に持ち越された。共有地は約五千平方メートル。徳山ダム建設中止を求める会」のメンバーら百十七人が地権者となっている。この日は十四人が出席。メ

7/26↑
8/4→
朝日新聞
(岐阜版)

ンバーらは、公社の強制収用を認めた一九九八年の建設相の事業認定の取り消しを求めて係争中で、「司法の判断も出ていないのに、収用委員会を開くのはおかしい」「公社から任意で土地譲渡の要請を受けた覚えもないのに、突然、強制収用ではおかしい」などと主張した。これに対し、公社側は「建設相の事業認定を受けて手続きを進めており、問題は無い」と反論した。

揖斐川のダイオキシン濃度は高い!

子供たちにこんな水は飲ませていいの?

7月に建設省が発表したダイオキシン調査で、揖斐川の水のダイオキシン濃度がきわめて高いことが明らかになりました。揖斐川下流の福岡大橋では、1998年には環境基準 = 1 pg-TEQ/L を超える値を出していますが住民には何も知らされていません。

徳山ダムができると、豊富でおいしい地下水の水道を、高くてもずいばかりかダイオキシンという有害物質まで入っている水へと変える。こんな「水資源開発」は「住民の生命と財産を脅かす」ものです。徳山ダムを「住民の生命と財産を守るための洪水調節目的のダム」と宣伝する人々は、これをどう説明するのでしょうか。

水源転換をやめること、ダイオキシン汚染の除去と情報公開を求めて、大垣市・岐阜県に申し入れを行います。

- ☆ 8月28日(月) 大垣市へ申し入れ
- ☆ 9月19日(火) 岐阜県へ申し入れ。収用委員会の後、午後に岐阜県庁を訪れます。是非ご参加下さい。

揖斐川水質は基準内
建設省中部地方建設局は二十一日、一九九九年秋に実施した管内一級河川の水質、底質のダイオキシン類の実態調査結果を発表した。底質は、調査した六河川八地点のうち、岐阜県海津町の揖斐川福岡大橋付近で一ヶあたり一九とグラムという高い値が検出された。全国四十八地点のうち五番目に高い値だったが、中部地建は「底質調査については環境基準がないが、特に問題ない」と説明している。揖斐川の福岡大橋付近は、水質のダイオキシン類も一ヶあたり〇・八とグラムと高い値が検出されたが、環境基準の一とグラムは下回った。このほかの地点でもすべてでダイオキシン類が検出されたが、環境基準を下回った。

↑朝日新聞 7/22

< pg-TEQ/L : pg = 1兆分の1グラム。-TEQ は検出したダイオキシン類全体を最も毒性の高い2,3,7,8-TCDDに換算したことを表す。Lはリットル。> 資料数字は4ページ

もう後戻りはできない「公共事業見直し」の流れ

これまで公共事業を利権と考え、ばらまき配分を権力の源泉と考えてきた自民党でも「無駄な公共事業を止める」と言い出さざるをえなくなりました。けれどもも有害無益な「公共事業」の一つ一つを擬態的に止める道は平坦ではありません。重い既成事実があり、強硬な推進派知事のいる徳山ダム事業は、最後までやめないと抵抗することでしょう。そして

土建公共事業全体への予算配分の大きさは相変わらず。止めない事業に重点配分して急いで造ってしまえということでしょうか。 8/26 中日

徳山ダムの建設に175億円
水資源開発公団の
来年度予算概算要求
水資源開発公団の二〇〇
一年度予算の概算要求が二
十五日発表され、藤橋村の
徳山ダム建設事業費には百
七十五億円が盛り込まれ
た。二〇〇〇年度予算の概
算要求額と同額。
徳山ダム建設事業は五月
に本体建設工事が始まっ
た。そのため、予算額が膨
らんできており、過去最高
の概算要求額だった二〇〇
〇年度予算でも満額の百七
十五億円が認められた。
二〇〇七年度の完成を目
指しており、二〇〇一年度
には本体や「洪水吐き」と
呼ばれる水路、付け替え道
路の工事などを進める予
定。

民主党・ネクストキャビネット（8/8）

徳山ダムの中止に向けた凍結を決定 <次ページ記事参照>

建設省・土地収用法「改正」に動き出す

有害無益な「公共事業」に疑問を呈するトラスト運動は全国にあります。このトラスト地の強制収用に時間と費用がかかる、何とか手続き迅速化を、と建設省は土地収用法の「改正」手続きを進めています。これは本末転倒の改悪以外のなにもでもありません。「公共事業」の計画策定段階から住民参加を進め、透明性を確保し、いつでも見直し・中止ができるシステムを作ることこそ先のはず。住民・地権者が真に納得できる公共事業なら、強制収用など例外中の例外になるのではないのでしょうか。

「土地収用法見直しネットワーク」ができた！ 政野淳子 8/21

18日に発起人が集まり、「公開討論会」を超党派国会議員と共催で開く相談がまとまった。「公共事業チェック議員の会」は、武村正義会長のあとを継ぐ形で、最近、中村敦夫参議院議員が会長になった。チェックの会の個々の議員達もこの問題を重視し、会として重要テーマとして取り上げることになったので、討論会共催となった。

【土地収用法見直しネット発起人（50音順）】青山貞一（環境行政改革フォーラム代表幹事）・飯田哲也（日本総合研究所主任研究員）・五十嵐敬喜（法政大学教授）・大橋光雄（廃棄物処分場問題全国ネットワーク代表）・熊本一規（明治学院大学教授）・小池信太郎（公害・地球環境問題懇談会幹事長）・坂元雅行（野生生物保全論研究会事務局長）・清水誠（神奈川大学教授）・標博重（首都圏道路問題連絡会代表幹事）・田中康夫（作家）・豊田誠（公害弁連・弁護士）・後藤隆（ユニットGOMA）・橋本良仁（道路問題反対運動全国連絡会事務局長）・原科幸彦（東京工業大学教授）・福井秀夫（法政大学教授）・藤原信（宇都宮大学名誉教授）・本間慎（東京農工大名誉教授）・政野淳子（ジャーナリスト）・三輪啓（ジャーナリスト）・矢山有作（水資源開発問題全国連絡会代表）

【「土地収用法見直し公開討論会」開催】

日時：9月13日3時半～5時半 場所：衆議院第1議員会館第1会議室

主催：公共事業チェック議員の会・土地収用法から公共事業を見直すネットワーク

司会：飯田哲也

挨拶：中村敦夫参議院議員

徳山ダム 「土地買収交渉に不備」

県収用委員が 市民団体が意見陳述 第3回審理

県収用委員会（瑞元博保会長）が二十五日県庁で開かれ、揖斐郡藤橋村の徳山ダム建設事業で、建設反対を求めてトラスト運動をしている市民グループが所有する土地を裁決対象にした第三回審理が行われた。審理では、グループ側が事業者の水資源開発公団の土地買収交渉に不備がある点や同事業に治水・利水の緊急性がない点を指摘する一方で、公団側が収用手続きの正当性を主張した。

「地権者には文書などを通じて連絡を求めてきたが、最終的に連絡が頂けなかったものと判断した」と述べ、

収用に向けた裁決申請の正当性を主張した。

また、審理ではグループ側が事業実施計画の調査が開始された一九七一年（昭和四十六）年、旧徳山村と公団が交わした確認書と差し入れ書の内容を取り上げ、公団の収用手続きに異義を唱

10/7/26/4

えた。グループ側は「当時の確認書には『みだりに収用はしない』とあるが、公団はこの約束を破っている」と指摘した。

一方、公団は「旧村民はすべて代替地への移転を完了している上、流城市町村や関係団体からは早期建設の要望が出ている」などの理由を挙げて、収用手続きの時期が妥当である点を主張した。

7/26 岐阜新聞

7/28 岐阜新聞

すぎる」とした上で、当初試算事業費の七二％が既に執行済みであることに触れ、「事業を止めた方がよっぽど税金の無駄遣いを防げる」と述べた。

ただ、建設目的のもう一つの柱である治水については、「山間地が急峻（きゅうじゆん）な日本で、ダムが要らないという意見はくみしたくない」といい、山の保水力を上げることで治水問題がクリアできるかどうかのシミュレーション

の作成に掛かりたいとの考えも示した。

前原議員は再来週にも開かれるネクストキャビネットに提案を提出し、同党としての意見をまとめる。「できれば、事業推進を決めている党県連など地元とのねじれた形にはしたくないが、その場合は仕方がない」と述べた。

徳山ダム事業凍結を

民主「影の内閣」建設現場を視察 閣の前原議員

民主党のネクストキャビネット（影の内閣）社会資本整備担当大臣の前原誠司衆院議員は二十七日、揖斐郡藤橋村の徳山ダム建設現場を視察した後、同郡揖斐川町で記者会見し、「建設目的の三つの柱のうち、治水を除いた利水、発電の根拠があいまい。（事業を）凍結し、中止も含めて検討すべきだ」との考えを示した。

同党がチェックを進める全国の十四の公共事業には県関連で長良川河口せきと徳山ダムが入っている。前原議員は三日、現地視察した後、住民グループのメンバーや藤橋村の中野久一助役らから意見を聞いた。記者会見で、前原議員は利水について「新たな水需要がないのではないかと、というのが基本認識。徳山ダムの水の必要性は極めて低いと言わざるを得ない。水需要の将来的な展望が過大

建設にビロヤ院川に建設されたダムは、前原誠司議員が視察した。中野久一助役、藤橋村の住民、議員らも参加した。



本整備担当の前原誠司衆院議員は二十七日、揖斐郡藤橋村の徳山ダム建設現場を視察した後、同郡揖斐川町で記者会見し、「建設目的の三つの柱のうち、治水を除いた利水、発電の根拠があいまい。（事業を）凍結し、中止も含めて検討すべきだ」との考えを示した。

同党がチェックを進める全国の十四の公共事業には県関連で長良川河口せきと徳山ダムが入っている。前原議員は三日、現地視察した後、住民グループのメンバーや藤橋村の中野久一助役らから意見を聞いた。記者会見で、前原議員は利水について「新たな水需要がないのではないかと、というのが基本認識。徳山ダムの水の必要性は極めて低いと言わざるを得ない。水需要の将来的な展望が過大

恒例：徳山村キャンプに28人参加 8/19・20

今年も徳山村西谷の奥・門入にてキャンプを行いました。広瀬夫妻が会場の草刈りをして下さっていました、感謝。
夕立にも遭わず、夜遅くまで話が弾みました。バーベキューの最中に羽虫の大群に襲われたのも、自然の中に人が生きるこの意味を考えさせる一コマでした。

途中、イヌワシの舞う姿をじっくり見ることができて、一同感激。



この写真のシャッターは広瀬さんご夫妻のこころを訪れたプロカメラマン・大西暢夫さん。

徳山ダム裁判 第8回口頭弁論は9月13日(水)

是非傍聴を！ 第9回は12月6日(水) いずれも岐阜地裁で13時30分から。

1999年秋の建設省のダイオキシン調査

地点名	水質1回目	水質2回目	底質
揖斐川岡島橋	0.082	0.11	0.62
☆ 揖斐川福岡大橋	0.52	0.80	19
阿武隈川伏黒	0.96	0.37	0.24
淀川伝法大橋	0.087	0.093	22
室生ダム県営取水口	0.10	—	29
室生ダムダムサイト	0.10	—	34
斐伊川穴道湖 No3	0.11	—	25

単位：水質 pg-TEQ/L、底質 pg-TEQ/g
揖斐川福岡大橋より水質 or 底質で高い値が検出された地点も載せた

1998年の環境庁ダイオキシン調査

地点名	水質		底質
	夏	冬	夏
大垣市 古宮排水路深川橋	1.9	0.22	56
海津町 揖斐川・福岡大橋	0.40	1.4	0.025

単位：水質 pg-TEQ/L、底質 pg-TEQ/g (全国204地点のうち)

水の女

渡辺孝明監督作品

奥美濃 雪の山岳地帯が
産んだ神秘の映像詩

九月一六日
岐阜市・岐阜市民会館
一〇月七日
名古屋市中・中小企業センター

チケットの問い合わせは
須田 090-4402-2621

「やめよ！徳山ダム」徳山ダム建設中止を求める会通信 編集責任：近藤ゆり子

事務局 大垣市田町1-20-1 TEL/FAX 0584-78-4119
郵便振替：00800-7-31632 Email：tokuyama@geocities.co.jp
URL：http://www.geocities.co.jp/WallStreet/1214/